



聖 峰

加賀市立錦城中学校
学校だより
令和5年4月号
文責 校長 公下 隆

校訓
強く
正しく
美しく

【学校教育目標】それぞれの個性を大事にし、心身ともに力強く成長し、未来を創る生徒の育成

95名の新入生を迎え、令和5年度は全校生徒369名でスタート

6日の入学式は、明け方まで強風と雨で天気が心配になりましたが、式が始まる頃には陽が差ししてきました。入学式の式辞では、安藤忠雄氏が本校の校舎に込めた思いと、3つの合い（認め合い、支え合い、高め合い）に、市教育ビジョンにある「誰一人取り残さない」学校教育の視点をとり入れ、「個が輝く」を加え、「認め合い 支え合い 高め合い 個が輝く学校」（3つの合いのある学校）にしたこと、そして「この学校で良かった、この学級で良かった」と思える3年間にしたいことを話しました。そして、「自分たちの学校は、自分たちの手で」、生徒による「自治的・自主的活動の充実」を目指しています。多感な時期の子ども達が一日中過ごす場ですから、いろいろとトラブルもあります。他人と比較したり集団の中の摩擦により自らを高めるこの時期は、大人への基礎作りの時だと思えます。個性を大事にする中で集団としてのルールも必要です。生きる力（確かな学力・豊かな人間性・健康と体）を育てるためにも、生徒の主体的な取組を、教師と家庭が連携し、支えていくことが必要です。どうぞよろしく願いいたします。来賓の方からの祝辞の概要と生徒代表からの言葉は以下の通りです。



○加賀市教育委員会 篠原教育長職務代理より

加賀市の教育スローガン「Be the player 自分で考え 動く 生み出すそして社会を変える」に向けて教育改革を進め、個性を大切に、それぞれの可能性を開花させる教育を目指していること、何事にもチャレンジし、思いやりを持って他者と関わることの大切さ

○土山PTA会長より

失敗を恐れず全力で挑戦することは、成功であっても失敗であっても、未来を切り開く、かけがえのない財産になること、中学校生活での成長と素晴らしい時間になることへの期待

○生徒代表「歓迎の言葉」生徒会長 西 清花

桜の花も満開となり、春の息吹を感じる季節となりました。今日 新たな一歩を踏み出す95名のみなさんご入学おめでとうございます。在校生一同、心より歓迎いたします。今皆さんかこれから始まる中学校生活が、どのようなものなのか、楽しみな気持ちや不安・緊張などで心がいっぱいだと思います。新しいクラスメイトとの出会い、小学校より少し難しくなった授業内容、そして先輩との関わりがある部活動と、慣れるまで戸惑うこともたくさんあると思います。そんな時は、私たち上級生に質問をしたり、遠慮なく、いつでも頼って下さい。全力で皆さんをサポートします。部活動では、大会やコンクールなどに向け、日々の練習に励み、技術はもちろん、身も心も鍛えられ、努力すればただ、大きく成長できます。また、自分の持っている個性を伸ばし、仲間達と共に頑張ることの



喜びを味わうことができます。全員で助け合い、高め合い、そして良い結果を残すことができたときの達成感とはとてつもないものです。昨年度、私が試合でミスをしてペアやチームに迷惑をかけた時もチームメイトが温かい言葉で支えてくれました。そのとき、改めて仲間の大切さを実感しました。新入生の皆さんにとっても、同じ目標に向かって助け合う仲間との活動は、貴重な経験になるでしょう。また錦城中学校には、体育祭と文化祭というとても大きな行事があります。体育祭では、各団のダンスパフォーマンスやクラス対抗リレーなど、さまざまな競技を行います。1年生から3年生まで学年関係なく互いに応援し合い、盛り上がるすることができます。文化祭での合唱では、クラスでたくさんの練習を重ね、より良い合唱を目指します。本番のステージでは、心をひとつにして歌う歌声が講堂いっぱい響き渡り感動します。体育祭・文化祭ともに、準備や練習は大変ですが、クラスで一つになって取り組んだことで、その苦勞でさえも楽しさになりました。だから、皆さんも行事だけでなく、色々なことに全力で取り組むと、きっとひとつひとつがかけがえのない思い出になると思います。生徒会活動では、「強く 正しく 美わしく」の校訓のもと、前期・後期とそれぞれのスローガンを掲げて活動しています。今年度の生徒会の年間目標は「錦中革命」、枠にとらわれず、錦中がより良い学校になるような革命を自分たちで起こしていこう、という意味で掲げました。皆さんも目標や夢を持って、これからの中学校生活を送って下さい。皆さんは、今日からこの錦城中学校の一員です。委員会活動や部活動、学校行事などを通して、私たちひとりひとりの手で、日本一あたたかい学校を築いていけるよう、一緒に頑張りましょう。最後に、新入生の皆さんの今後のご活躍を期待して、歓迎の言葉と致します。

新しく赴任した職員

打田 匡宏（教頭・社会） 平野 直美（英語） 北 泰明（数学） 山村 良一（数学）
久世 竜也（理科） 畠 代（保体） 山下 大貴（特学） 南出 明美（養護）
石田 和成（拠点校指導員） 川瀧 昌美（事務主査） 中嶋 茂治（教育支援員）
市本 律子（調理員）

○新学期以降の学校における感染対策について（県立学校のガイドラインに沿って）

4月から感染対策として、学校でのマスクの着用は求めないことを基本としています。ただし、
①校外学習等において医療機関や高齢者施設等を訪問する場合など、マスクに着用が奨励される場合においては、生徒及び教職員等においても、マスクを着用することが望ましい
②基礎疾患があるなど様々な事情や健康上の理由により着用できない生徒にはマスクの着脱を強いることがないようにすること
となっています。

学校では、マスクの着用の有無による差別・偏見がないよう指導は行いますが、ご家庭においても、お子様に適切なご指導をお願いします。今後も、「3つの密（密閉・密集・密接）を避ける」、「手洗いなどの手指衛生」「換気」などの基本的な感染対策を継続していきます。ご家庭では、登校前の検温と健康観察を行い、発熱等のかぜ症状がみられる場合は登校を控え、検査を受けた場合は学校への連絡をお願いいたします。なお、現在は感染レベルが1に下がっていることから、同居家族に発熱やのどの痛み等のかぜ症状があっても、生徒の登校を控える対応は求めません。授業が始まり、部活動や行事、授業参観などが始まります。教育活動が継続できるようにご協力をお願いいたします。